

平成23年度 第9回黒石市立小・中学校適正配置検討委員会会議録

招 集 日 時 平成23年9月30日（金）午後3時00分

開 催 場 所 黒石市役所 3階 中会議室

次 第

1. 委員長あいさつ
2. 協議事項
 - ① 答申の素案について
 - ② 資料綴について
 - ③ その他

会議における主な意見 ※（○印は委員の意見、→は事務局の回答）

○ こんにちは、大変お忙しい中、また悪天候の中ご出席頂きまして誠にありがとうございます。本日は、9回目の委員会で、資料見ますと正にそうなんですけども、幹事会のほうも12回の開催という事でかなりの数の開催になったと思います。それだけ難産であったといえるかと思います。最初の頃を思い出して見ますと、皆様方の一人一人のご意見は、素晴らしいわけなんですけども、それぞれに個性っていいですかありまして、ほんとに1つにまとまるんだらうかっていうふうに最初の頃は感じていました。ひょっとしたら最後には、決議を取って多数決で決まるということも考えられるのかなと、それくらい紛糾した部分もありましたけど、回を重ねるごとに理解が深まっていったと言いますか1つにまとめることができたというふうに思っています。そういう意味では改めて委員の皆様のご協力に、心から感謝を申し上げたいと思います。本日は何も無ければ最後の委員会になるかと思えますけれども、事務局から話をしてもらい、皆さんから一言ずつ感想を頂いて終わらしましょうという風になっておりましたので、最後までよろしくお願ひしたいと思ひます。それでは協議事項に入らせていただきます。答申の素案について事務局から説明をお願いします。

→（資料に基づき説明）

○ はい、ありがとうございました。思ひ的なところは1つにはなっているんですけども、答申書を作る上での言葉使いのところが主に前回色々出てきたように思ひます。今、事務局のほうから説明があったわけなんですけれどもそれに対して改めてご質問、ご意見いただければと思ひます。

○ 無ければご承認いただいたという形でよろしいでしょうか。はい、ありがとうございます。それでは資料綴りについてはいいですか。それでは、その他という事で最後ですので皆様方から感想といひますか思ひといひますか一言ずつ頂戴をして閉めたいと思ひます。○○委員からお願ひします。

○ 私は○○地区なんですけども、複式学級のある学校については早期解消というのはすごく当たり前のことだと思ひます。地区に小学校がこのままでいくと無くなるのですけれども、

子どもたちのこと考えれば致し方ないのかなと思います。

○ 言葉使いといいますか表記を十分最後まで検討していただいたのではないかなと思っております。このようにまとまった答申が次また具体化されるように検討されることと思います。この精神が貫かれるよう期待したいと思ってます。ここまで纏め上げました委員長始め幹事の皆様事務局の皆様、本当にお疲れ様でございました。以上です。

○ 委員として大した意見も出せずに申し訳ないというか恐縮した気持ちでいっぱいですが、黒石市の歴史を見ると全国的に自慢できるような1小学校区、1公民館、1コミュニティエリアというその精神はぜひ今後も受け継いでいって欲しいというふうな気持ちでこの答申を見てきました。以上です。

○ 何回か出席できなくて中身はちょっと分からないこともあったんですけど、最初のほうはやはり中々進まなくてどうなるかなとは思いましたが、ここまでまとめ上げてくださった幹事の方々に、それから色々な貴重な意見を下さった皆さんにお礼を申し上げたいと思います。あとはこれを教育委員会のほうで本当に子どもたちの為にやって欲しいと思っています。以上です。

○ 最初どういった意見をいっていいのか内容的にもちょっと分からなかったんですけど、今になってみて公民館とか学校とかのつながりとかいろんなことを勉強させていただきました。ありがとうございました。お疲れ様でした。

○ 委員の方々や幹事の方々が一生懸命でよくまとめてくれました。私からも感謝を申し上げます。しかしながらここまでは誰でも出来ます。これからが本番で大変だと、いざ合併となりますとその地元にも降りて膝を交えて話しをしなければならないことがこれから多くあると思いますので、本当に大変なのはこれからだと。今回の答申は私個人としてもよくまとまって皆様に感謝です。終わりです。

○ 一番心配していた14ページの5番がちゃんとありますので、このところを今後十分生かすようにしていただきたいと思います。以上です。

○ 個人的には小さい学校を大切にしたいなという思いがすごく強くて、ずっと委員の皆さんに混乱を招かせたなって反省しております。委員長さんと副委員長さんのお陰で何とか小さい学校も大切にしたいという思いが出てきたようなので、ありがたいなというように思っていました。1年半、何を自分でしたのかよくわからないんですけど、少しさっぱりしております。どうもありがとうございました。

○ はい、とりあえず今日来てない〇〇さんに感謝したいなと、彼がいなくてここまで来なかったんじゃないかなと正直な感想です。地域っていうものがどういう意味を持ってるのかということを忘れないでいて欲しいなってことなんです。市民であって地域の住民であるっていう部分が小中学校の学区そのもので、黒石がいままでコミュニティという形で利用してきたものをみんなにとってプラスであったものがこれから先もプラスでありうるかというときに、それをそのプラスの部分の新しい学校を対等に新設、統合という形になるって言うこ

とをきちんと理解する。ここのところまでは無理かもしれないけど理解して新設、統合とするって部分を強く出していないと一番先に地域の枠の中に引きこもりたくなると思うんですよね。そうではなくて市民っていう立場で未来の子どもたちのためにどうしようという問いかけが一番だったと思いますので、いいなげかけをするっていうことで出て来るんで、これから先色々こう問題もでてくるんでしょうけども、答えるときに守らないということですよ。必ずこの地点でお話してますってことをきちっと出して行って欲しいと思うんです。それは皆がよくなるためにどうすればいいのかっていう視点で話して行きますよっていうことを重点にしてですね、進めていただければと思いますので、最後にほんとに委員の皆様からいろんな意見が出て大変楽しくて、私としてはその分助かったというふうに思っております。ありがとうございました。

○ ありがとうございます。私が委員長を務めるということになったときに、実は中学校のときの恩師が〇〇お前よくそういうの務めるなといわれました。というのは地域から学校がなくなるということは地域の住民からすると間違いなく反対ということになる。多分、市民全ての人間が反対でないかと。それをまとめるということは大変なことだぞというふうに言われて、えらいものをひきうけたなというように思ったんですけど、皆様のご協力を得てここまでまとめることが出来たとほんとに感謝を申し上げたいと思います。他市のまとめ方とは多少、いやかなり違います。でもこれはやはり黒石市がコミュニティ活動が大変活発な地域だということがあらわれているのかなというふうに思います。そういった意味では宿題っていったいなんですけども、教育委員会にこの残したものがかなり大きいものがありまして、ご苦勞をおかけするなというふうに思っておりました。たぶん教育委員会にはこういうふうにまとまればいいなという何かあったのかもしれませんが、結果としてそうだったかどうかは私はわかりません。ただ、子どもたちのために市民のためにとっていうことではいい方向にまとまったのではないかなと思っております。本当にお世話になりました。ありがとうございます。